

# 相談室だより

## 11月号

(No. 89号)

平成16年11月1日発行

### 熊取療育園

#### 地域療育等支援相談室

大阪府泉南郡熊取町朝代東4丁目22-12

TEL: 0724-53-5917

FAX: 0724-52-9151

e-mail: kumatorijr@gamma.ocn.ne.jp

すぎでしまつから、管理を手伝ってほし

## 「支援を得る」という自立

- ① 自分の「できないこと」、「苦手なこと」を自覚できる
- ② そのことについて相談したり、助けを求めることができる
- ③ 第三者の話や働きかけを受け入れることができる

必要な支援を得るということは、①～③のように言い換えることが出来ると思います。そしてこうしたことが、「自立する」ということではないでしょうか。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

「お父さんお母さんも年とってきたし、いつまでも頼ってばかりおられへん。病院に送り迎えしてもらってたけど、これからはヘルパーさんと行くようにしようと思うねん。」

これまでの『相談室だより』を参考にしてくださった方や、周囲の人がサービスを使っているのを見聞きして影響を受けた方より、このように話していただけることが少しずつ増えてきました。その人なりに自分の将来を見据えていくたくましさを感じます。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

「何でも自分でしっかりやっていきたい。だけど、お金のことだけは不安。きっと使い

い。」

と、話してくださった方もいました。自分の苦手を知り、それを自分で認めることができるのも、一つの「強さ」と言えるのではないのでしょうか。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

上記に紹介した方々は、①～③をクリアし、まさに自立しつつあるところだと思えます。相談室は、こうした方々へ具体的にサービスを紹介します。つないでいくのが役目です。

しかし、①～③をクリアするための支援も、相談室の大切な役割と考えています。自分の苦手を自覚し、それを他者に打ち明け、それについての他者からの関わりを受け入れるには、きっかけや多少なりの勇気が必要だからです。

相談室にご登録いただいたみなさんが、今回ご紹介した方々のように、支援を得るという自立に対して、前向きになっていけるよう、ゆっくり焦らず、その人の気持ちに寄り添いながら、お付き合いしていきたいと思えます。



## ひとりごと

自分ひとりで出来もしないのに、なかなか人に相談しようともせず、にっちもさっちもいなくなっているのはこの私…。自らを自覚して、自立しなくちゃなあ。（見学）